

# 大分県済生会日田病院群 臨床研修プログラム

令和5年度



社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会支部

大分県済生会日田病院

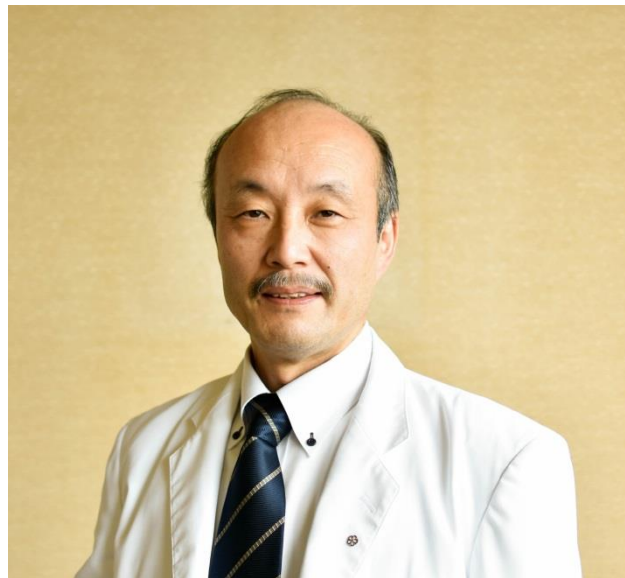


## 《 理念 》

「済生」の心を受け継ぎ、医療と福祉の充実・発展を通して、  
安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

## 《 基本方針 》

- 1 生活困窮者支援事業を推進します。
- 2 信頼される救急医療体制を構築します。
- 3 関係機関との連携を図り、高度医療を提供します。
- 4 職員の協調と信頼によってチーム医療の充実を図り、患者本位の医療を実践します。
- 5 中核病院として、地域の医療水準の向上に努めます。
- 6 総合的な医療の質の管理を行い、健全経営を目指します。



大分県済生会日田病院 院長 林田 良三

# 目次

1. プログラムの目的と特徴.....	1
2. プログラム責任者と参加施設.....	2
3. 定員.....	3
4. 研修医の募集・採用について.....	3
5. 教育課程・評価・修了認定.....	4
6. 臨床研修の到達目標・行動目標.....	7
7. 診療科紹介.....	22

# 1. プログラムの目的と特徴

## 【大分県済生会日田病院群臨床研修プログラム】

基幹型臨床研修病院：大分県済生会日田病院

協力型臨床研修病院：久留米大学病院、久留米大学医療センター

臨床研修協力施設：奥村日田病院、藤吉産婦人科

大分県西部保健所、岩手県済生会岩泉病院

### 《目的》

医学・医療の社会的ニーズを認識し、日常診療で多く経験する病気や病態に適切に対応できるプライマリ・ケアに必要な基本的臨床能力を身につけることは非常に重要です。

本プログラムは、臨床研修を円滑に行い、幅広い基本的な診療知識・技術を習得するとともに、患者さん、家族及びスタッフとの連携を大切にする態度を養い、安全な医療を行うための基本的姿勢を習得し、医師としての人格を涵養することを目的とします。

### 《特徴》

本プログラムは、大分県済生会日田病院を基幹型臨床研修病院、久留米大学病院と久留米大学医療センターを協力型臨床研修病院、奥村日田病院、藤吉産婦人科、大分県西部保健所、岩手県済生会岩泉病院を臨床研修協力施設とする臨床研修プログラムです。

大分県済生会日田病院は、日田・玖珠地域の中核病院として平成2年10月に開院しました。地域中核医療、二次救急医療を担当し、地域医師会との医療連携を重視し、また、大阪府済生会中津病院、大分大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院として教育・診療に力を注いでいます。

臨床では、日常遭遇する頻度の高い疾患、基本的な疾患、病態、救急疾患などにつき、診断、治療を経験し、プライマリ・ケアに必要な知識・技術の習得を目指しています。

## 2. プログラム責任者と参加施設

### 1) プログラム責任者

大坪 仁（大分県済生会日田病院副院長 兼 臨床研修室室長）

### 2) 基幹型臨床研修病院

- 大分県済生会日田病院（日田市大字三和 643 番地の 7）

施設概要：<http://saiseikai.hita.oita.jp>

開 設：平成 2 年 1 0 月

診療科目：内科 心臓血管内科 消化器内科 血液内科 腫瘍内科  
糖尿病・代謝内科 腎臓内科（人工透析） 脳神経内科 外科  
呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 頸部外科 血管外科 整形外科  
脳神経外科 形成外科 小児科 皮膚科 婦人科 放射線科  
リハビリテーション科 救急科 麻酔科 歯科口腔外科

病 床 数：199 床

（高度急性期(HCU8)、急性期 108、回復期(リハ 32・地域包括 33)、慢性期(緩和ケア 14)、感染症 4)

行政機関：共同利用型病院（24 時間、2 次救急への対応）、

の 指 定 へき地医療拠点病院、開放型病院、県 HIV 診療協力医療機関、災害拠点病院、第 2 種感染症指定医療機関、県難病医療協力病院、日田玖珠圏域地域リハビリテーション広域支援センター、基幹型臨床研修病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

### 3) 協力型臨床研修病院

- 久留米大学病院

施設概要：<http://www.hosp.kurume-u.ac.jp/>

- 久留米大学医療センター

施設概要：<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

### 4) 臨床研修協力施設

- 奥村日田病院（精神科・心療内科）（日田市田島 500）

施設概要：<https://hita-soujin.jp/>

- 藤吉産婦人科（中津市大字上宮永 270-1）

施設概要：<http://www.fujiyoshi-obgyn.com/>

- 大分県西部保健所（日田市田島町 2-2-5）

施設概要：<https://www.pref.oita.jp/site/seibu-hc/>

- 岩手県済生会岩泉病院（岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字中家 19-1）

施設概要：<https://saisei-iwaizumi.com/>

### 3. 定員

(令和5年度)

区分	公募によるもの
1年次	2
2年次	2
合計	4

研修医の募集は公募によるものとし、マッチングシステムに参加する。

\*なお、当院は大分大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院になっており、2年次における必修科目の研修も受け入れている。

### 4. 研修医の募集・採用について

1. 研修開始時期 令和5年4月1日
2. 研修医の処遇  
常勤  
基本給 一年目 274,500円/月 二年目 278,500円/月  
(上記は令和4年度ベース)  
賞与 年2回支給  
手当等 扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外・休日手当有  
勤務時間 8:30 ~ 17:24 (休憩60分)  
休暇 4週8休、年末年始、年次有給休暇(1年目15日)  
当直 副直として他の医師2名(内科系・外科系)と担当。  
※目安 約3回/月  
社会・労災保険 社会保険(協会健保)、公的年金保険(厚生年金)  
労働者災害補償保険法の適用有、雇用保険有  
健康管理 健康診断(年2回)  
託児所 有(病院から徒歩1分)  
医師賠償責任保険 病院において加入する(個人加入任意)  
外部の研修 学会、研究会等への参加有、参加費用助成  
アルバイトについて 研修に専念し、アルバイト診療は一切認めない。

### 3. 研修医の募集及び採用方法

プログラムに関する問い合わせ先

副院長兼臨床研修室室長 大坪 仁（オオツボ ヒトシ）  
資料請求 総務課 近藤 真悟（コンドウ シンゴ）  
住所 〒877-1292  
大分県日田市大字三和643-7  
電話 0973-24-1100  
FAX 0973-22-1269  
e-mail [s-kondo@saiseikai.hita.oita.jp](mailto:s-kondo@saiseikai.hita.oita.jp)  
URL <http://saiseikai.hita.oita.jp/contents/>  
募集方法 公募  
応募必要書類 履歴書、卒業（見込み）証明書、成績証明書  
選考方法 面接、適性検査  
募集時期 令和4年6月1日から  
選考時期 令和4年度中  
マッチングの利用 有

## 5. 教育課程・評価・修了認定

研修期間は2年間とし、この期間の研修によりプライマリ・ケアにおける医師としての態度、知識、技能などの基本的な診療能力を習得する。

### ①研修期間割

当初の52週は基本研修科目を研修することとし、内科24週間、外科4週間、小児科4週間、救急12週間（うち麻酔科4週をで実施）、産婦人科4週間（協力病院で行う）、精神科4週間（協力病院で行う）とする。

研修科目	研修期間
オリエンテーション（内科研修に含む）	1週間
内科	24週間（一般外来並行）
外科	4週間（一般外来並行）
救急部門	12週
小児科	4週間（一般外来並行）
産婦人科	4週間
精神科	4週間
地域医療	4週間（一般外来並行）
一般外来	4週間（並行研修）
自由選択	46週間

自由選択の46週間においては必修科目の研修及び自由選択科目（形成外科・整形外科・脳神経外科・放射線科（大分県済生会日田病院）、保健・医療行政（大分県西部保健所）、内科・小児外科・高度救命救急センター（久留米大学病院）、総合診療科（久留米大学医療センター））の研修ができる。

## 【共通的研修】

### (i) オリエンテーション

研修最初の1週間に以下の内容を中心にオリエンテーションを行う。

- ・病院概要の紹介
- ・スタッフ紹介
- ・病院就業規則
- ・勤怠管理について
- ・臨床研修制度・プログラムの説明
- ・医の倫理について
- ・診療録、オーダリングシステムについて
- ・医療安全管理
- ・院内各部門の紹介
- ・文献検索

### (ii) 臨床病理検討会（CPC）

剖検例について担当科医師、病理医を中心に院内全体として検討会を行い、研修医の教育に役立てる。

### (iii) 症例検討会、学術講演会

地元医師会との共催による症例検討会を継続的に開催している。

また、地元医師会の学術講演会が毎月開催されている。

## 研修内容

- ・共通的研修及び到達目的
- ・科別研修カリキュラム

## 《研修評価》

卒後臨床研修医用オンライン臨床研修評価システム（EPOC2）を用いて臨床研修評価を行う。

- ・ローテート毎の研修医（指導医）評価票Ⅰ～Ⅲ
- ・経験症候／疾病・病態の記録、承認
- ・基本的臨床手技の記録
- ・コメディカル職員からの360度評価

## 《プログラム修了の認定》

2年間の臨床研修プログラム修了を臨床研修管理委員会の審査を経て認定した後に、臨床研修管理委員長名による修了認定証を授与する。



初期研修プログラムのローテーション（例）

【1年目】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
研修施設	済生会日田病院					
診療科	内科（※一般外来）					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修施設	済生会日田病院				藤吉産婦人科 久留米大学病院	奥村日田病院 久留米大学病院
診療科	外科 （※一般外来）	救急科 （※一般外来）		小児科 （※一般外来）	産婦人科	精神科

【2年目】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
研修施設	久留米大学病院	済生会日田病院	済生会日田病院 久留米大学医療センター		久留米大学病院 大分県西部保健所	
診療科	麻酔科 （救急部門研修として）	地域医療 （※一般外来）	※自由選択			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修施設	済生会日田病院		久留米大学病院 久留米大学医療センター 大分県西部保健所			
診療科	※自由選択					

※必修診療科は内科、救急部門（救急科・麻酔科）、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療とする。

※必修である救急部門の研修については、救急科（済生会日田病院）で8週間以上実施し、麻酔科（久留米大学病院）で4週以上実施する。

※一般外来の研修は内科、外科、小児科、地域医療をローテーション中に平行して8週以上実施する。

※自由選択は、必修診療科および形成外科・整形外科・脳神経外科・放射線科・婦人科（大分県済生会日田病院）、保健医療行政（大分県西部保健所）、内科・小児外科・高度救命救急センター（久留米大学病院）、総合診療科（久留米大学医療センター）から選択する。

# 6. 臨床研修の到達目標



## 1. 到達目標

### 【A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）】

#### 1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

#### 2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

#### 3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心をもって接する。

#### 4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

### 【B. 資質・能力】

#### 1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ②患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤診療、研修、教育の透明性を確保し、不法行為の防止に努める。

#### 2. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題に対し、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ①頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ②患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床判断を行う。
- ③保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

#### 3. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ②患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ③診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

#### 4. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ②患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主體的な意思決定を支援する。
- ③患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

#### 5. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ①医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ②チームの構成員と情報を共有し、連携を図る。

#### 6. 医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、みずからの健康管理に努める。

#### 7. 社会における医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

- ①保険医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ②医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。
- ③地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
- ④予防医療・保健・健康増進に努める。
- ⑤地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑥災害や感染症パンデミックなどの医療需要に備える。

#### 8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ①医療上の疑問点を研究課題に変換する。
- ②科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。

#### 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ①急速に変化・発展する医学知識・技術の呼吸に努める。
- ②同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療を含む。）を把握する。

## 【C. 基本的診療業務】

コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、以下の各領域において、単独で診療ができる。

### 1. 一般外来診療

頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。

### 2. 病棟診療

急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・漸進的な診療とケアを行い、地域医療に配慮した退院調整ができる。

### 3. 初期救急対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

### 4. 地域医療

地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。

## 2. 経験すべき症候—29 症候—

外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。

卒後臨床研修医用オンライン臨床研修評価システム（EPOC2）にて、経験症候の病歴要約を作成し、指導医から承認を受ける。

ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便・嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候

## 3. 経験すべき疾病・病態—26 疾病・病態—

外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

卒後臨床研修医用オンライン臨床研修評価システム（EPOC2）にて、経験疾病・病態の病歴要約を作成し、指導医から承認を受ける。

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺がん、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

## 内 科

### 【一般目標】

プライマリ・ケアを中心に研修を行い内科受け持ち医として、各疾患分野の専門的診断・治療を経験し、幅広い鑑別能力を養うとともに、複数の疾患や合併症の存在、労働や生活習慣と疾病との関連、高齢者における老化など、多様な生物化学・社会的・心理的背景をもった患者の問題解決にあたり、総合的診療能力を身につけることを目標とする。また、当院は地域拠点病院でもあるので、地域医療の重要性を理解することの併せて目標とする。

### 循環器疾患

#### 【経験すべき主要疾患】

心不全・狭心症・心筋梗塞・心筋症・不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）・弁膜症（僧帽弁、大動脈弁膜症）・動脈疾患（動脈硬化症、動脈瘤、大動脈瘤解離）・静脈／リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）・高血圧症（本態性、二次性高血圧症）・肺塞栓

#### 【行動目標】

- ① 患者の自覚症状の聴取と理学的所見から、原因となる心疾患の推定ができる力を身につける。
- ② 心不全の病態生理を理解し、原因の鑑別診断・治療の実際を身につける。  
安静度・食事・薬物療法・手術適応
- ③ 虚血性心疾患の診断と治療を身につける。  
胸部症状の特徴・検査計画と結果の理解・薬物療法・カテーテル治療と外科的治療の適応・冠危険因子に対する対応
- ④ 不整脈の診断、危険な不整脈の判定、治療を身につける。  
薬物療法、電気生理学的検査、カテーテルアブレーション、ペースメーカー治療の適応・薬物療法の実際。
- ⑤ 高血圧の病態生理を理解し、診断・治療の実際を身につける  
2次性高血圧の鑑別診断、治療・本態性高血圧の薬物療法、食事、生活指導
- ⑥ 循環器救命救急医療における初期治療を身につける。  
ショック、狭心症、急性大動脈解離、急性動脈閉塞、致死的不整脈

### 呼吸器疾患

#### 【経験すべき主要疾患】

呼吸不全・呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）・閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症、慢性肺気腫）・肺循環障害（肺塞栓、肺梗塞）・異常呼吸（過換気症候群）・胸膜・縦隔・横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）・肺癌

## 【行動目標】

- ① 呼吸困難の鑑別診断を身につける。  
臨床症状の把握・検査所見の理解（胸部レントゲン、血液ガス分析）
- ② 慢性閉塞性肺疾患 COPD の診断と治療を身につける。  
慢性呼吸不全の診断・治療・肺理学療法・NIPPV の適応・生活指導
- ③ 急性呼吸不全の診断と治療を身につける。  
気道確保・気管内挿管、気管切開の適応と手技
- ④ 肺炎の鑑別診断と治療を身につける。  
血液検査結果の評価・喀痰の細菌学的検査の解釈  
胸部レントゲン所見の読影
- ⑤ 肺結核の診断を身につける。  
胸部レントゲン、CT 所見の特徴・結核菌検出法・入院適応の理解
- ⑥ 気胸の診断と治療を身につける。  
穿刺脱気療法・持続脱気療法・手術適応
- ⑦ 胸水貯留と胸膜炎の鑑別診断と治療を身につける。  
胸腔穿刺・胸水の評価・胸膜生検・胸腔鏡
- ⑧ 肺癌の診断と治療を身につける。  
喫煙などのリスクの理解・特徴的症状の理解・画像診断・化学療法、放射線療法と手術の適応・末期医療病理学的検査
- ⑨ 気管支喘息急性増悪の治療と慢性期管理を身につける  
環境整備・薬物療法・日常生活の指導

## 消化器疾患

### 【消化器内科の目標】

医師として日々の診療で頻繁に出くわす消化器症状に対し、初期対応が可能となるための基本的診療能力（知識、態度、習慣、技能）を身につける。

### 【行動目標】

- ① 患者・家族に誠実に接することができる。
- ② 医師・患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。
- ③ 医療チームの一因として、コミュニケーションが取れる。
- ④ 指導医への報告・相談・連絡を的確にする。
- ⑤ 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる（EBM の実践ができる）。
- ⑥ 腹部をはじめ、患者の基本的な身体診察ができる。
- ⑦ 症状や理学的所見に応じて諸検査（血液生化学検査、検尿、単純 X 線撮影、超音波検査、CT、MRI、内視鏡検査など）の必要性と適応を判断し、適切に指示が出来る。またその結果を正しく評価出来る。
- ⑧ 腹部超音波検査の基本的技術および診断法を身につける。
- ⑨ 腹痛患者の診察、原因検索、初期対応が出来る。

- ⑩ 嘔気嘔吐や下痢を訴える患者に対して、診断および治療ができる。
- ⑪ 消化管出血（吐血・下血）患者に対し、適切な初期対応を行いつつ、原因検索を進めることが出来る。
- ⑫ 便秘の原因を明らかにし、それに対する適切な処方が出る。
- ⑬ 肝機能障害を有する患者に対し、適切な検査を行いその原因を明らかにすることが出来る。
- ⑭ 腹水穿刺を安全に施行し、その腹水の性状から原因を明らかにする事が出来る。
- ⑮ 緩和・終末期医療を必要とする患者とその家族に対し、全人的に対応するために心理的社会的側面への配慮が出来る。
- ⑯ 基本的な緩和ケア（WHO方式がん疼痛治療法をふくむ。）が出来る。
- ⑰ 告知をめぐる諸問題への配慮ができる。

#### 【学習法略】

- ① 主治医の指導の下で担当医として入院患者の診療にあたる。
- ② 内視鏡検査・治療の介助につく。
- ③ 生理機能検査室にて患者の腹部超音波検査を行う。
- ④ 腹部症状を有する救急患者の診療にあたる。各種カンファレンスに参加する。

#### 【評価】

- ① 研修を進める過程において適宜、自己および指導医による形成的評価を行う。
- ② 研修終了時に指導医による総括的評価を行う。

### 血液疾患

#### 【経験すべき主要疾患】

貧血（鉄欠乏性、二次性）・白血病・悪性リンパ腫・出血傾向・紫斑病（DIC）

#### 【行動目標】

- ① 血液疾患に特徴的な症状と理学的所見について理解し鑑別診断を身につける。  
貧血、出血傾向、リンパ節腫脹、肝脾腫、皮膚症状など鑑別診断
- ② 各主要疾患の鑑別に必要な基礎的な問診・検査手技とその評価法を身につける。  
血算、血液像、鉄代謝マーカー・クームス検査・骨髄検査など。
- ③ DICの診断と治療を身につける。  
原因となる疾患の理解・特徴的的症状と血液凝固系検査・抗凝固療法や線溶療法など
- ④ 血小板減少性紫斑病の診断と治療を身につける。  
骨髄穿刺と骨髄像の解釈・ステロイド療法・安静の指示

## 内分泌・栄養・代謝系疾患

### 【経験すべき主要疾患】

糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）・高脂血症・蛋白および核酸代謝異常（高尿酸血症）・視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）・甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）・副腎不全

### 【行動目標】

- ① 糖尿病とその合併症の診断・教育・治療を身につける。  
特徴的症状・診断基準・病型分類・コントロールの評価・合併症検査
- ② 糖尿病の管理と治療を身につける。  
食事療法、運動療法の指示・経口糖尿病薬、インスリン療法の適応・患者教育
- ③ 高脂血症の特徴的な症状と検査所見を理解し、治療を身につける。  
食事療法・運動療法の指示・薬物療法の適応
- ④ 甲状腺疾患の特徴的な症状と検査所見を理解し、治療を身につける。  
甲状腺の触診・エコー検査・自己抗体・甲状腺シンチグラム・薬物療法
- ⑤ 副腎疾患の特徴的な症状と検査所見を理解し、治療を身につける。  
内分泌的検査・副腎画像診断

## 腎・透析・尿路系（電解質、体液バランスを含む）疾患

### 【経験すべき主要疾患】

腎不全（急性・慢性腎不全、透析）・原発性糸球体腎炎（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）・全身疾患による腎障害（糖尿病性腎症）・泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症）

### 【行動目標】

- ① 蛋白尿、血尿の鑑別診断を身につける。  
診断の進め方・腎生検の適応と組織所見・画像診断
- ② 浮腫の鑑別診断を身につける。  
浮腫の視診、触診・浮腫の病態生理の理解・ネフローゼ症候群の診断基準
- ③ 腎不全（急性・慢性）の鑑別診断と治療法を身につける。  
急性腎不全（腎前・腎・腎後性の分類）の原因の推測と治療  
透析治療の理論と、その導入と維持について理解する。
- ④ 腎炎（急性・慢性）の鑑別診断と治療法を理解する。  
疾患についての理解・検査所見の評価
- ⑤ 電解質異常の鑑別診断と初期治療を身につける。  
検査所見の見方、高カリウム血症の初期治療
- ⑥ 尿路結石の特徴的な症状を理解し、診断と治療を身につける。  
特徴的な症状の問診と理学的所見・原因検索・内科的初期治療・泌尿器科的治療の適応
- ⑦ 透析患者への投薬の原則について理解する。



- ⑧ 尿路感染症の診断と治療を身につける。  
細菌学的検査結果の評価・逆流性疾患の検索・抗生物質療法

## 脳神経系疾患

### 【経験すべき主要疾患】

頭痛、めまい、失神、意識障害、脳血管障害、脳脊髄血管障害

### 【行動目標】

- ①医療面接（患者－医師関係）
- ②チーム医療
- ③問題対応能力
- ④医療安全管理
- ⑤症例呈示
- ⑥医の倫理・社会性
- ⑦保険診療

## 高齢者医療

### 【経験すべき主要疾患】

高齢者の栄養摂取障害・その他の老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥瘡）

### 【行動目標】

- ① 高齢者の特性を理解し、年齢に配慮して適切に面接・診察・治療にあたることができる。
- ② 家族構成（独居を含む）、家庭介護力に配慮した適切な診療計画を立てられる。
- ③ 在宅医療や在宅介護のシステムを理解し、往診・訪問看護・介護について適切に指示できる。
- ④ 介護保険制度について理解し、主治医意見書を書くことができる。
- ⑤ ケアマネージャーなどの在宅介護スタッフと適切にコミュニケーションがとれる。

## 外 科

### 【一般目標】

すべての臨床医に必要な外科的治療の対象疾患の診断・治療について学び理解することを目標とする。

### 【経験すべき主要疾患】

急性腹症：急性虫垂炎・消化管穿孔・腸閉塞

その他：胆石・肛門疾患・そけいヘルニア・胃癌・大腸癌・乳癌

### 【行動目標】

- ① 臨床医として必要な創傷処置の理論と手技を身につける。  
簡単な外傷の一時処置（洗浄・縫合など）・熱傷の局所処置・局所麻酔
- ② 急性腹症の鑑別診断・手術適応について理解し、緊急手術に参加する。  
緊急手術の術前準備・患者への説明・指示だし・術後感染対策とドレーン管理
- ③ 待機手術の術前検査・術前リスク評価を行い、術前カンファレンスに参加する  
胆石・胃癌などの症例で術前・術後をうけもつ
- ④ 悪性疾患の外科的治療について、患者への説明とその後のケアについて学ぶ。  
手術以外の治療法の検討・精神的ケア
- ⑤ 手術に参加し、その概要について学ぶ。  
手術基本手技の経験・手術室スタッフとの連携

## 救 急 科

### 【一般目標】

救急医療は初期、二次、三次救急医療に分けられ、当院では二次救急に対応している。救急医療は医の原点であるという認識に基づき、救急疾患の初期対応に必要な技術と知識を習得し、臨床医としての基礎的な能力を獲得することが目的である。

### 【到達目標】

- ① バイタルサインの把握ができる。
- ② 身体所見を迅速かつ的確にとれる。
- ③ 重症度と緊急度が判断できる。
- ④ 二次救命処置ができ、一次救命処置を指導できる。
- ⑤ 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる。
- ⑥ 専門医への適切なコンサルテーションができる。
- ⑦ 災害時の救急医療体制を理解し、自己の役割を把握できる。
- ⑧ 感染管理を理解し実践できる。

## 小児科

### 【一般目標】

すべての臨床に求められる小児医療の知識と技術の習得を目標とする。

特に小児および家族との良好な医師－患者関係の確立と、小児の発達に応じた診療・治療能力の獲得を重視する。

### 【経験すべき主要疾患】

小児けいれん性疾患・小児ウイルス感染症（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ等）・小児細菌感染症・小児呼吸器感染症・小児喘息・小児消化器疾患・先天性心疾患

### 【行動目標】

- ① 小児や親と適切なコミュニケーションをとる技術を身につける。  
無用に不安を与えることなく子どもと接すること・親の不安によりそう態度でのぞむこと。
- ② 小児の急性疾患の診察、鑑別診断と治療法を身につける。  
発熱、嘔吐、けいれんなどの主要兆候についての鑑別診断・小児薬用量の理解
- ③ 小児の代表的流行疾患において、診断・治療・見通しの説明ができる知識を身につける。  
水痘・おたふくかぜなどのウイルス性疾患の自然経過を学ぶ。
- ④ 予防接種の必要性和効性を理解し、適切に説明し安全に接種する知識と技術を身につける。  
予防接種スケジュールの理解・海外渡航に際する知識を身につける。
- ⑤ 小児の全身状態を把握し、緊急性のある状態を見逃さず適切に小児科専門医との連携がとれる。  
小児の意識状態・呼吸循環状態の観察法の修得・適切なコンサルテーション技術
- ⑥ 小児に対する簡単な処置を経験し、時間外の一次処置ができる能力を身につける。

### 【基本手技・特殊検査】

- ① 小児の年齢に応じた問診・診察法
- ② 小児に対する薬物療法（小児薬用量）
- ③ 小児の抑制法
- ④ 小児の末梢静脈の確保
- ⑤ 小児の採血
- ⑥ 小児の皮下注射（予防接種）
- ⑦ 小児の超音波検査（腹部など）
- ⑧ 小児のレントゲン検査と読影
- ⑨ 小児の健康診断（乳児健診）
- ⑩ 小児の救急蘇生
- ⑪ 感染症の迅速診断（溶連菌など）

## 産婦人科

### 【一般目標】

産科・婦人科患者を自ら診察し、適切な初期診断を行う積極性と技能を修得し、専門医に移管するまでの初期診察を行う技術を習得する。

女性であり、母性である産科・婦人科患者の実態を理解し、いたわりの心をもってその診察にあたる態度を身につける。

### 【経験すべき主要疾患】

妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）

女性生殖器及びその関連疾患（月経異常（無月経を含む）、不正性器出血、更年期障害、外陰・膣・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍）

### 【行動目標】

#### 産 科

- ① 産科患者の問診を行い、診断に必要な事項を聞き出し、記録できる。
- ② 産科的一般診察を行い、所見を正確に記録できる。
- ③ 妊婦の診断法を確実にを行い、その結果を適正に判断できる。
- ④ 妊婦および褥婦の外来における診察を補助し、家庭における健康管理について患者に指示できる。
- ⑤ 正常分娩の介助を各期にわたって行うことができ、早期に異常を発見し、専門的処置の必要性を判断し、その実施の依頼または指示ができる。
- ⑥ 異常分娩で救急を要する患者の応急処置を行うとともに、専門的処置の準備をととのえ、または、転送の実施および指示ができる。
- ⑦ 分娩直後の新生児の処置および一般的診察を行うことができる。
- ⑧ 呼吸循環不全の新生児の、応急処置および蘇生術を行うことができ、専門医師に移管するまでの指示を与えることができる。
- ⑨ 産科救急患者の初期診察を行うことができる。
  - (1) 流早産の応急処置ができる。
  - (2) 重症妊娠中毒症の応急処置ができる。
  - (3) 妊婦後半期および産褥大出血の応急処置ができる。

#### 婦 人 科

- ① 婦人科患者の問診を行い、診断に必要な事項を聞き出し、記録できる。
- ② 婦人科的一般診察を行い、所見を正確に記録できる。
- ③ 主な婦人科疾患に必要な診断を計画し、実施または指示できる。
- ④ 主な婦人科疾患の治療および教育計画をたてることができる。
- ⑤ 婦人科緊急患者の初期治療ができる。

- (1) 性器出血の応急止血法を実施でき、鑑別診断の実施または指示ができる。
- (2) 腹腔内出血の有無を早急かつ正確に診断し、応急処置ができる。
- (3) 骨盤内腫瘍の茎捻転および破裂を鑑別診断し、緊急手術の必要性を判断できる。
- (4) 骨盤内炎症の存在を発見し応急処置ができる。

## 精神科

### 【一般目標】

精神科における基本的診察（面接、診察、検査、診断、治療）の理解と実践  
研修の最大の目的は、患者の呈する症状と身体所見、簡単な検査所見に基づいた鑑別診断、  
初期治療を的確に行う能力を獲得することにある。

### 【経験すべき主要疾患】

症状精神病、痴呆（血管性痴呆を含む）、アルコール依存症、気分障害（うつ病、躁うつ病を  
含む）、統合失調症（精神分裂病）、不安障害（パニック症候群）、身体表現性障害、ストレス  
関連障害

### 【行動目標】

- ① チーム医療の基本行動ができる。
- ② 新患の予備面接ができ、ICD10（またはDSMIV）の診断ができる。
- ③ 精神療法の基本を身につける。
- ④ 精神科的な救急の基本対応（不安状態、興奮状態、うつ状態、自殺企図の診察）ができ  
る。
- ⑤ ケース検討を経験する。

## 地域医療

### 【一般目標】

「健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全によい状態にあるということであり、単に  
疾病または虚弱ではないということではない」というWHOの定義にもあるように、人間は  
肉体的、精神的のみならず社会的な存在であることを正しく理解する。医療機関で目の前に  
いる患者の全身を診ることが出来れば全人的医療ということではなく、患者の存在する家庭、  
地域、職場といった社会環境をも包含して診る能力を身につける。

### 【行動目標】

- ① へき地医療拠点病院である済生会日田病院にて、へき地巡回診療を通して、対象地域の  
地形、交通事情、産業と生活状況等について理解し、へき地医療の問題点を考える。
- ② へき地医療拠点病院として、県からの要請を受け、へき地診療所への代診医派遣への同  
行を通して、診療所の役割について学ぶ。
- ③ 診療所で必要とされる知識・技能・態度を習得するとともに、プライマリ・ケア、家庭  
医に必要な知識・技能・態度が何かを学ぶ。

- ④ 訪問診療、訪問看護に同行し、医療活動の状況を知る。
- ⑤ 大分県西部保健所の役割（地域保健・健康増進）について理解し、実践を学ぶ。

## 整形外科

### 【一般目標】

四肢、脊椎の救急疾患および外傷に対応できる基本的診断能力を習得する。

さらに運動器慢性疾患の重要性と特殊性について理解し、疾患部位の適切な診察法ならびに単純 X 線の読影を習得する。

### 【頻度の高い症状・疾患】

- ① 腰痛、頸部痛を来す疾患の臨床的な鑑別診断を行う。さらに単純 X 線、CT、MRI、ミエロフィーの読影を行う。
- ② 変形性関節症の経過および病態を理解する。また、関節内注入等の保存的治療法を習得する。
- ③ 骨折の合併症、特に偽関節の治療方法を理解する。
- ④ スポーツ傷害、特に靭帯損傷の診断を行う。
- ⑤ 慢性関節リウマチについて内科的治療および外科的治療を理解する。

### 【緊急を要する症状・病態】

- ① 骨折、脱臼の保存的治療を習得する。
- ② 開放創の初期治療が行える。
- ③ 切断肢、指について初期治療を理解する。

### 【経験することが望まれる疾患】

- ① 脊椎、脊髄疾患の鑑別を中心にした診断の基本を習得する。
- ② 単純 X 線、MRI による骨腫瘍の診断を行い、それぞれの治療方法を理解する。
- ③ 先天性疾患を経験し、各々の疾患を理解する。
- ④ 足の外科、手の外科について、種々の疾患を理解し、鑑別診断、治療方針の決定が行える。
- ⑤ 四肢の末梢神経損傷および傷害について鑑別診断が行える。
- ⑥ 術後の後療法的重要性を理解し、その指導が行える。
- ⑦ 松葉杖歩行を理解し、その指導が行える。
- ⑧ 各種理学療法を理解し、その処方ができる。

### 【行動目標】

- ① 臨床医として必要な整形外科疾患の理論と手技を身につける。
- ② 救急患者の処置及び緊急手術に対する適応を理解し手術に参加する。
- ③ 待機手術者の術前検査、術前リスク評価を行い、術前、術後に患者を受けもつ。
- ④ 患者家族への説明とその後のケアについて学ぶ。
- ⑤ 学会活動、カンファレンス等に積極的に参加する。

## 脳神経外科

### 【一般目標】

脳神経外科疾患の基本的知識の理解とそれらの疾患の診断、治療方針、手術手技の基本を修得することを目標とする。なお、研修期間によっては、本プログラムの一部に限定した内容を研修することとなる。

### 【行動目標】

- ① 患者及びその家族との良好なコミュニケーションの維持を図る。
- ② 日々の患者の診察、採血、そのデータの評価、カルテの記載を実行する。
- ③ 神経学的診察法を習得し、各所見に基づく神経学的局所診断を学ぶ。
- ④ 主要な神経症候についての鑑別診断の手順を学ぶ。
- ⑤ 意識障害患者に対する神経所見の取り方、対処法を習得する。
- ⑥ 主要な検査手技（腰椎穿刺、脳血管撮影）を習得し、検査結果の適切な判断を学ぶ。
- ⑦ カンファレンスにおいて、新患、問題症例、手術前後の患者についての全身状態・神経所見・検査結果等を的確に報告する。
- ⑧ 術前に予定術式を、また術後に術中所見を的確に報告する。
- ⑨ 手術患者の術前の諸準備と術後の管理計画を行う。
- ⑩ 手術に際し、その内容を良く理解し手術が円滑に進むように手助けする。
- ⑪ 術者として脳室ドレナージ術、慢性硬膜下血腫に対する穿頭血腫洗浄術、シャント手術、頭蓋形成術、気管切開術などを経験する。
- ⑫ 救急患者、急変患者に対する適切な処置法（気管内挿管、中心静脈ラインの挿入、レスピレーターの使用法）を習得する。

## 形成外科

### 【一般目標】

- ① 創傷治療の基本原則の理解と創傷処置の基本手技の習得によって、急性および慢性創傷の処理を正しく行うことができる。
- ② 醜形の改善が患者の精神的・社会的復旧に果たす役割について理解できる。

### 【到達目標】

外科的処置および手術に必要な全身管理と手技を指導医のもとで実践しながら習得する。また、縫合、植皮術などの形成外科的基本手技を実際に行うことで習得する。研修項目は、疾患によって以下のごとく分類されており各々担当し研修する。

- ① 新鮮熱傷：全身熱傷に対する診断（熱傷面積と重症度）および治療（全身管理と手術）の基本的な知識と技術を習得する。
- ② 顔面骨折および軟部組織損傷：顔面の臨床解剖を理解し、主訴と診察所見からその骨折部位や重要器官の損傷部位を診断し治療法を検討する。
- ③ 唇裂・口蓋裂：解剖学的異常を理解し、それに対する手術術式の理論を習得する。また、同時に構音・嚥下機能について基本的な知識を身につける。

- ④ 手・足の先天異常と外傷：手足の機能解剖を理解し、手術の手技や技術について学ぶ。
- ⑤ その他の先天異常：小耳症を中心とした耳介の先天異常などの手術に参加することで、その発生機序や治療法について学ぶ。
- ⑥ 母斑・血管腫ほか良性腫瘍：皮膚良性腫瘍の診断と手術を中心とした治療について学ぶ。
- ⑦ 悪性腫瘍切除後の再建：悪性腫瘍に対して行う関連各科とのチーム医療に参加し、その重要性和あり方について学ぶ。また、植皮・皮弁・筋皮弁など組織移植について基本的知識と手技を学ぶ。
- ⑧ 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド：創傷治癒の原則を学ぶとともに、瘢痕やケロイドの発生機序と治療法について理解する。
- ⑨ 褥瘡・難治性潰瘍：創傷治癒の基本原則を学び、その治療手段について検討し実践する。
- ⑩ 美容外科：加齢による整容的・機能的障害に対する治療について学ぶ。また、醜形の改善が患者に及ぼす精神的影響について理解する。

【指導者】

山口明伸

【週間予定】

月	手術、病棟回診
火	外来、外来手術、病棟回診
水	外来、外来手術、病棟回診
木	外来、外来手術、病棟回診
金	手術、病棟回診

【外来】

火、水、木曜日

【カンファレンス】

症例により関連各科と適宜



## 7. 診療科紹介

### 【大分県済生会日田病院】

[心臓血管内科](#)  
[血液内科](#)  
[腎臓内科](#)  
[外科](#)  
[整形外科](#)  
[脳神経外科](#)  
[形成外科](#)  
[小児科](#)  
[婦人科](#)  
[放射線科](#)  
[救急科](#)

### 【協力型臨床研修病院】

[久留米大学病院](#)  
[久留米大学医療センター](#)

### 【協力施設】

[奥村日田病院](#)  
[藤吉産婦人科](#)  
[大分県西部保健所](#)  
[岩手県済生会岩泉病院](#)

## 心臓血管内科

### 副院長 大坪 仁

日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本 DMAT 隊員  
大分 DMAT 隊員  
臨床研修指導医講習会修了  
プログラム責任者養成講習会修了

#### 診療内容

**検査：**心臓カテーテル検査、電気生理学検査、動脈硬化評価(脈波や頸動脈エコー等)、心臓エコー検査、運動負荷検査、ホルター心電図、ホルター血圧計、心筋シンチ、心機能評価依頼(総合的に判断し、こちらで必要な検査を組みます)、64列心臓CT、心臓MRI。

**治療：**冠動脈形成術、ペースメーカー手術、下大静脈フィルター留置術、腎動脈形成術(PTRA)、経皮的動脈形成術(PTA)、大動脈バルーンポンピングシステム(IABP)、血管内エコー。

#### 《研修医の皆様へ》

大分県西部地域、地域医療の最前線の病院です。  
循環器科として、循環器学会指定病院として、  
初期治療等の研修ができます。

福岡(天神)も車で約1時間と近いので、ぜひ  
研修に来て下さい。

## 血液内科

### 部長 岩橋 正人

日本内科学会認定内科医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本血液学会血液専門医  
臨床研修指導医講習会修了

#### 診療内容

造血器腫瘍を中心に診療を行っています。

## 腎臓内科（人工透析）

### 医長 乙咩 崇臣

日本内科学会 認定内科医  
日本腎臓学会 腎臓専門医  
日本透析医学会 透析専門医

#### 診療内容

腎臓内科では、検尿の異常（蛋白尿や血尿）、腎炎、腎不全、ネフローゼ症候群などの患者さんをケアしています。

血液透析を行っており、維持透析にも力を入れています。当院の透析の基本は、「栄養状態の改善と十分な透析」です。これによって、維持透析の最大の問題点である心臓や血管の合併症を予防すべく全力で臨んでいます。

久留米大学病院やその関連施設と連携して診療を行っており、患者さんのご期待に応えるべく、最大の努力を払っています。

## 院長 林田 良三

日本外科学会外科専門医・指導医  
日本胸部外科学会胸部外科認定医  
肺癌 CT 検診認定医  
麻酔科標榜医  
臨床研修指導医講習会修了

## 副院長（兼）外科部長 尾崎 邦博

日本外科学会専門医・指導医  
呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医  
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医  
日本乳癌学会乳腺専門医・指導医  
日本大腸肛門病学会大腸肛門病専門医・指導医  
呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医  
日本臨床腫瘍学会暫定指導医  
インфекションコントロールドクター  
検診マンモグラフィ技術認定医（A 判定）  
乳がん検診超音波検査実施医師（A 判定）  
臨床研修指導医講習会修了

### 診療内容

一般外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科（心臓外科を除く）、頸部外科  
毎週カンファランス・勉強会を行い、治療内容（内視鏡治療・鏡視下手術・開胸開腹手術）  
の検討、リスク評価などを行い、個々の症例に応じた最適の治療を行えるよう、また、地  
域の先生方の信頼に応えられるよう全員で努力しています。

#### 《研修医の皆様へ》

現在、外科スタッフは、6 人です。急患から定例手術、診断から治療、がん集  
学治療を行っております。研修体制で研修医へのアンケートで最も必要なことは、  
職場の雰囲気が良いこと、必要な症例、手技の経験が十分なこと、指導医の指導  
が熱心なこと、コメディカルとの連携がうまくいっていること、雑用が少ないこ  
とだとされています。いずれも満足いただくと確信しております。

一度連絡をとり、見学に来て頂くことができましたら喜んで対応致します。

一日とはいわず、数日間見学して頂ければ、より実態が分かると思います。夏  
休みや冬休みでもいつでもお待ちしております。

## 整形外科

### 部長 森 啓介

日本整形外科学会整形外科専門医

日本整形外科学会リウマチ医

日本 DMAT 隊員

大分 DMAT 隊員

#### 手術実績

当科では四肢の骨折の加療を中心に、年間400例の手術を行っています。

人工膝関節置換術、人工股関節置換術、頸椎後方拡大、脊椎椎弓切除術、椎間板ヘルニアの手術は、久留米大学に講師を依頼し対応しています。膝関節鏡は行っていません。

#### 特 色

大半が高齢者の頸部骨折です。ハイリスクな症例が多く、心臓血管内科をはじめとして各科と連携し、手術が可能な場合は積極的に手術し、早期離床を目指しています。

坐骨神経痛、椎間板ヘルニアの保存的治療は麻酔科と連携し、硬膜外ブロック、ルートブロック、持続チュービング、椎間板加圧術などにより保存的加療を行っています。

骨髄炎、糖尿病性壊死などは、形成外科と連携し、高気圧酸素療法、陰圧閉鎖療法などを用い最小限の切断にて加療することを目的としています。広範囲皮膚欠損に関しても閉鎖療法を用いて最小限の皮膚移植で済むように努力しています。

## 脳神経外科

### 部長 森山 匠

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医

日本救急医学会救急科認定医・専門医

臨床研修指導医講習会修了

**専門分野** 重症脳損傷（主に頭部外傷、脳卒中）における頭蓋内圧および頭蓋内血流動態の変化

#### 診療内容

＜診療対象とする主な疾患＞

脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、脳腫瘍および頭部外傷など脳神経外科領域一般の診断および急性期の治療。さらに治療方針に関するセカンドオピニオンにも対応しています。

## 形成外科

### 部長 山口 明伸

日本形成外科学会認定形成外科専門医  
(皮膚腫瘍外科指導専門医)  
臨床研修指導医講習会修了

#### 診療内容

形成外科全般。当院は耳鼻咽喉科がないため頭頸部悪性腫瘍切除後の再建手術はありません。形成外科とは、先天性および後天性の身体外表の形、色の変化、すなわち醜状を対象とし、これを外科的手技により形態（美容）解剖的に正常（美形）にするものです。

その対象には、1. 先天奇形（甲唇裂や小耳症などの顔面奇形、多指（趾）症などの手足の奇形など）。2. 外傷（熱傷、顔面外傷、顔面骨骨折、手指の切断（再接着）、四肢外傷による組織欠損、外傷後の瘢痕拘縮およびケロイドなど）。3. 腫瘍（皮膚・皮下良性および悪性腫瘍、頭頸部や四肢悪性腫瘍摘出後の再建、乳房再建など）。4. 美容 があります。その他具体的には、眼瞼下垂、眼瞼内反・外反症、陥入爪、彎曲爪、腋臭症、わきが、褥瘡などの治療を行っています。

形成外科は、他科と協力しチームを組んで治療にあたることも多く、これは創傷治癒という傷の治りにかかわる理論を理解し、さまざまな治療の手段を持っているからです。

## 小児科

### 医長 大石早織

日本小児科学会小児科専門医  
臨床研修指導医講習会修了

#### 診療内容

日田・玖珠（小児人口9294人：2020年）を腸炎、虫垂炎、腸重積などを中心に、川崎病、紫斑病、リンパ節炎、急性腎炎、ネフローゼ症候群、痙攣性疾患、髄膜炎、心身症など小児科医がプライマリーで経験すべき疾患を数多く診ています。急性白血病や固形腫瘍、人工呼吸管理や血液透析などを含め集中治療を要する疾患は、久留米大学、聖マリア病院、大分大学と連携をとり合いながら診療しています。

## 婦人科

### 部長 堀内 新司

日本産婦人科学会産婦人科専門医  
臨床研修指導医講習会修了

**検査** エコー検査、CT、MRI、子宮卵管造影（HSG）、子宮内視鏡

**治療** 婦人科全般、妊婦健診

**妊婦健診** 妊娠の診断、子宮外妊娠の除外など。当院には現在まだ分娩施設がありませんので、患者さんの希望により、原則2nd trimester までの妊婦健診を行い、その後、希望の分娩管理可能施設へご紹介いたします。また、異常妊娠を疑う場合や、あきらかな High risk case は速やかに久留米大学病院、聖マリア病院に紹介しています。

**不妊** 保険適応の範囲内での加療を原則としています。患者さん及びパートナーの方と十分な話し合いの上、必要であれば専門施設へご紹介いたします。また、保険適応外の薬剤投与や時間厳守の投薬（注射）のご指示は当院のシステム上お受けできないことがあります。

**悪性腫瘍に強い婦人科** 特に子宮、卵巣、卵管及び外陰の悪性腫瘍に関しては、精密検査、診断に加え根治手術、化学療法、放射線治療（現在外照射のみ）などの幅広い治療で対応しています。

## 放射線科

### 部長 楠元 正志

日本医学放射線学会放射線診断専門医

日本 IVR 学会 IVR 専門医

臨床研修指導医講習会修了

#### 診療内容

1. 画像診断（80 列マルチスライス CT、1.5T-MRI、透視）
2. 核医学検査
3. 血管造影検査・治療（緊急 IVR・肝癌治療）
4. 放射線治療

#### 特色

当院の特徴として、以下の検査・治療があります。

フルモダリティーであり、最新機種の導入で高度な画像診断が可能となっています。

1. 肝臓癌に対する肝動脈塞栓術、肝動脈内リザーバー造設術
2. 認知症検査（MRI、脳血流シンチグラフィ）
3. 胃瘻造設術（PEG、PTEG）
4. 各種インターベンショナルラジオロジー  
例)IVH ポート造設、CT ガイド下生検など
5. 核医学検査  
（骨シンチ、ガリウムシンチ、心筋シンチ、各種甲状腺シンチ、副腎シンチ、レノグラムなどほとんどの核医学検査を行っています。）



## 救急科

### 部長 中島 竜太

日本救急医学会救急科専門医

日本集中治療医学会集中治療専門医

臨床研修指導医講習会修了

#### 特色

救急科はその名のとおり救命救急を専門とする診療科であり、全身を網羅的に診て救命処置を幅広く行うための知識とスキルを持っています。救急専門医、集中治療専門医が果たす役割は地域や病院によって異なりますが、済生会日田病院の救急科では重症度や外傷、内因性疾患の別を問わず急病の患者の診療を行います。また、特に重症の患者の場合は根本的治療（カテーテル治療、緊急手術など）を行うまでの救命処置、その後の全身状態の安定化を積極的に行います。

当院において、今までこのような業務は各診療科が手術や他業務と並行することで日田玖珠地域の救急医療を保って来ましたが、同時に各診療科の負担が増大していました。

当科はこれらの業務を引き継ぎ、各診療科と協力し、病院、地域におけるセーフティネットとしての役割を果たしていきます。

#### 診療内容

- ・消防機関を通じたメディカルコントロール
- ・病院前診療（ドクターカーなど）
- ・救急外来での診療、ディスポジション
- ・HCU（高度治療室）における全身管理
- ・その他（各診療科、部署の遂行する根本治療、例えば手術やカテーテルなどの支援）
- ・教育・研究活動

をミッションとしていきます。

#### 対象疾患

急性呼吸不全、敗血症、アナフィラキシーショック、熱中症、低体温症、心肺停止、多発性外傷、急性中毒、その他呼吸循環、臓器障害

#### ポリシー

- ・エビデンスに基づく、高度かつ効率的な診療により、経営に寄与する。
- ・人材育成、院内外の教育、研究活動により、ブランディングに寄与する。
- ・フォロワーシップを通じ、チーム医療の醸成に寄与する。

## 協力型臨床研修病院

### 【久留米大学病院】

所在地 : 福岡県久留米市旭町67

研修担当科 : (必修) 麻酔科、小児科、産婦人科、精神科  
(自由選択) 内科系、高度救命救急センター、小児外科

### 【久留米大学医療センター】

所在地 : 福岡県久留米市国分町155-1

研修担当科 : (自由選択) 総合診療科

## 協力施設

### 【奥村日田病院】

所在地 : 大分県日田市田島500

研修担当科 : (必修) 精神科

### 【藤吉産婦人科】

所在地 : 大分県中津市上宮永3-270

研修担当科 : (必修) 産婦人科

### 【岩手県済生会岩泉病院】

所在地 : 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉中家19-1 下閉伊


研修担当科 : (必修) 地域医療

### 【大分県西部保健所】

所在地 : 大分県日田市田島2丁目2-5

研修担当科 : (自由選択) 保健・医療行政

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会支部

 大分県済生会日田病院

※無断転載、頒布禁止